



1学期が終わります

臨時休業明けの5月25日（月）から始まった1学期が、7月31日（金）に終わろうとしています。

この期間、子供たちは、本当によく頑張りました。感染防止のため、常時マスクを着用したり、密にならないように考えて行動したりする等、制限のある学校生活の中でも、一生懸命に学習や生活に頑張りました。

始業式で、子供たちに話をしたように、「学校の良さや大切さ」を感じながら、1日1日を大切に取組んでいました。取組を通して、「新しい相川小学校を創る」意識が、特に高学年の行動に見られていました。具体的には、友達のことをもっともっと思い遣れることや、真剣に学習に取り組むこと、命の大切さを感じることであります。

子供たちにも教職員にとっても、1学期は大変でした。登校時から、教職員による「健康チェック」は毎日行われました。また、授業は、40分授業の7校時まで行っていました。これは、子供たちには好評ではありませんでした。理由は、「中休み時間」が10分間しかとれないため、疲れを口にする児童もいました。反対に、火曜日・木曜日のロング昼休みは、児童には好評でした。校庭で友達と遊ぶ児童が、格段に増えました。また、教室で先生と話したり、友達とおしゃべりしたりと思い思いに過ごす時間になりました。

毎日の全館消毒作業は、大変でしたが、保護者の皆様、地域の皆様に助けいただきました。また、消毒するための物品不足にも善意をいただきました。ありがとうございました。

保護者の皆様にとっても、新しい学年、学級でのお子さんの様子や授業時の様子、担任の先生はどのような教え方をしているのか等、直接参観していただく機会が感染防止の関係から、どうしても確保できませんでした。そのため、本校では、保護者の皆様にできるだけ、今の学校の様子や現状をお伝えし、不安や心配を減らすために学校ホームページで日々の様子を中心に紹介してきました。今後ぜひホームページをご覧ください。

大勢の保護者をはじめ地域の方々に、この1学期、学校や教職員にたくさんの励まし、感謝の言葉を頂戴しました。私たちが「頑張るエネルギー」になりました。心から感謝を申し上げます。

「子供たちの心のケア」の取組②

長期に渡る臨時休業の影響、新型コロナウイルス感染症へ感染することの恐怖、学校生活での制約など、これらのことが子供たちに影響を及ぼしています。本校では、「心のケア」として具体的に4つの取組を行いました。

①「スクールカウンセラー面談」の実施

ここまで、高学年の5・6年生の面談が終了しました。個別のフォローアップも行っています。2学期も引き続き、取り組んでいきます。

②「Q-U調査」の実施

本年度からの取組として、学級内での児童の心の居場所などについて調べ、教員の児童理解や学級づくりに役立てることを目的に「Q-U調査」を実施しました。今後、調査結果の分析と活用について、専門家から指導を受け、児童一人一人の指導、フォローに取り組んでまいります。

③「友達関係アンケート」の実施

毎年、学期毎に行っているアンケートです。アンケート結果を受けて、状況把握や指導を通して改善に導くように取り組みます。

④「日本赤十字社 ウイルスの次にやってくるもの」を教材とした授業

児童にとって親しみやすい絵本アニメーションを教材に、新型コロナウイルス感染症から、体だけでなく、心を守り、社会を守るための心構えについて学習しました。

マメル・メールの活用に関わって

新型コロナウイルス感染症の影響により、マメル・メールの配信が増えました。

①お子さんの「学籍番号」を把握しておいてください。Google フォームで回答する際に必要となります。ご不明の場合は、担任までお問い合わせください。

②お子さんが学校へ行っている時は、午前、昼食時、午後の3回、メールチェックにご協力をお願いします。

③ Google フォームで回答する時は、児童1名に対して必ず保護者1名の回答としてください。